

移行審査への準備は万全ですか？ ☑ 移行に向けたセルフチェックリスト

移行審査を受ける前に必要な活動を実施できているか、チェックすることをお勧めします。
以下のチェックリストをご活用ください。



☐ 規格の内容について理解は済んでいますか？

まずはご担当者様ご自身が新しい規格の意図を理解することが重要です。
トップマネジメントへの説明も必要となります。

☐ 新規格に合わせた文書類の改訂は済んでいますか？

新規格の要求事項と現行のマネジメントシステムとのギャップ分析を行うことで、
取り組むべき活動を明確にすることができます。

☐ 関係する要員（内部監査員等を含む）への教育・訓練を実施しましたか？

一般社員に対しては、仕事との関係を示しながら規格の意図を抑えて説明することが効果的です。
内部監査員に対しては「知識」と「監査技術」の二点を抑えた教育を実施しましょう。

☐ 内部監査及びマネジメントレビューを実施しましたか？

移行審査では新規格のすべての要求事項が運用されていることを評価します。
そのため、すべての要求事項の運用に対して内部監査・マネジメントレビューを完了していただくことが必須条件となります。

※シートはあくまで目安としてご活用ください。 ※日程の調整等に関しましては各担当グループまでお問い合わせください。

《移行審査実施予定月》

※移行審査は**2025年7月末まで**に完了していただく必要があります。受審月の4～6ヶ月前にはお申し込みをお願いいたします。

《移行審査のお申込みは**2025年3月末まで**です》

※再認証審査時に移行審査を受ける場合には有効期限の3か月前の受審を推奨いたします。 _____ 年 _____ 月

エイエスアール株式会社

本社	〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町2-7 TEL: 03-3666-8757 (代表) FAX: 03-3666-8753 TEL: 03-3666-0478 (営業部)	設立年月日	2000年4月19日
営業所	○名古屋支社 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-2-5 名駅児玉ビル5F TEL: 052-533-1822 ○名古屋第二支社 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-3-26 昭和ビル6F TEL: 052-211-7102 ○大阪支社 〒541-0053 大阪市中央区本町4-5-16 華東ビル4F TEL: 06-4964-0120	資本金	9000万円
		従業員数	約380名（審査員を含む）
		事業内容	マネジメントシステム認証及び検証業務
		加盟団体	○日本マネジメントシステム認証機関協議会（JACB） ○事業継続協会（BCI 日本支部）



ISO/IEC27001:2013にて認証を取得されている組織様へ

ISO/IEC27001は 2022年版への移行が必要です

2022年10月25日に2022年版のISO/IEC27001が発行されました。

それに伴い、ISO/IEC27001:2013の認証は

2025年10月31日に失効 となります。

それ以前に新規格への移行が完了できない場合、

認証が取り消しになってしまいます。

※審査終了後判定結果が出るまで数か月いただきますので、

2025年7月末までに移行審査を完了していただく必要があります。

《移行審査のお申込みは**2025年3月末まで**です》



移行審査の準備を進めなければ
いけないことは分かったけれど…

■ 自社の場合定期審査と再認証審査、
どちらのタイミングで移行審査を受け
ればいいのか分からない

■ 移行審査を受けると登録証の有効期
限はどうなるのか心配

■ 移行審査に向けていつ頃までに何を
すればいいのか分からない

…等

そんなご担当者様の不安にお答えします！

◆ISO/IEC27001:2022移行関連情報特設ページ

<https://www.armsr.co.jp/iso/iso27001/ikou2022.html>

◆規格改正に関するお問い合わせ先

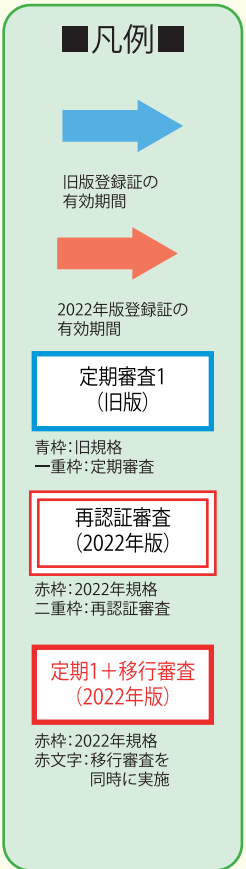
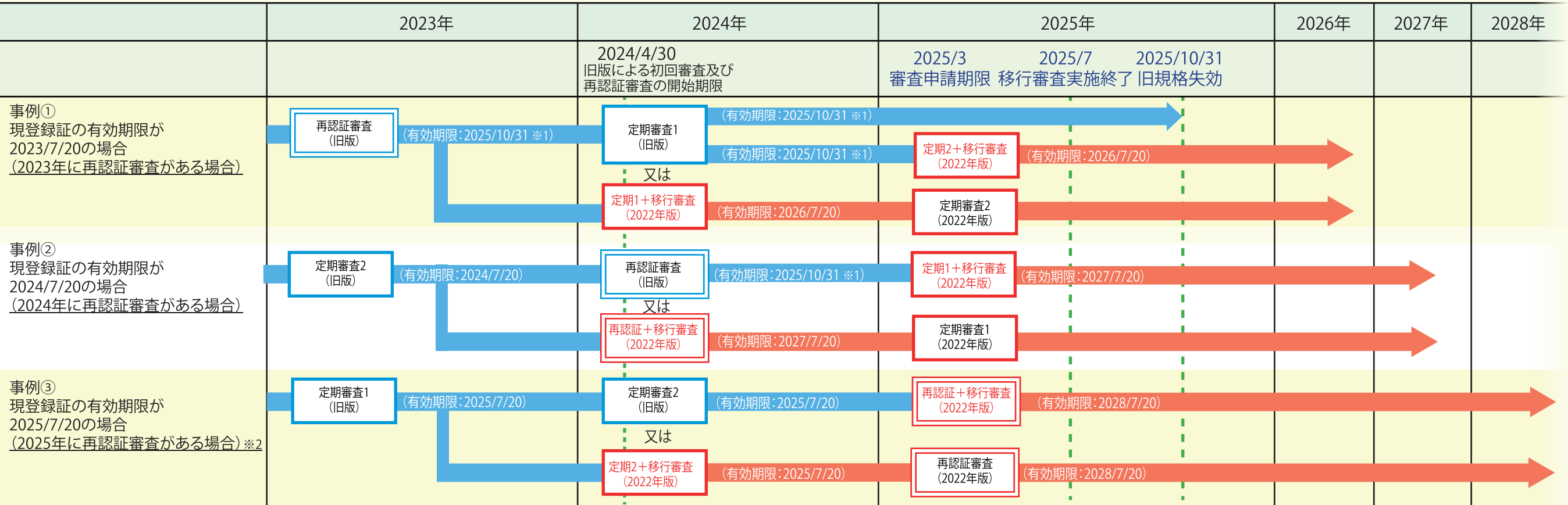
otoiawase@armsr.co.jp



御社のサイクルに合わせてご計画下さい。

移行審査と登録証有効期限の取り扱い

2024年または2025年に移行審査を受ける場合のスケジュールモデルを有効期限の年次ごとにパターン分けして掲載しています。



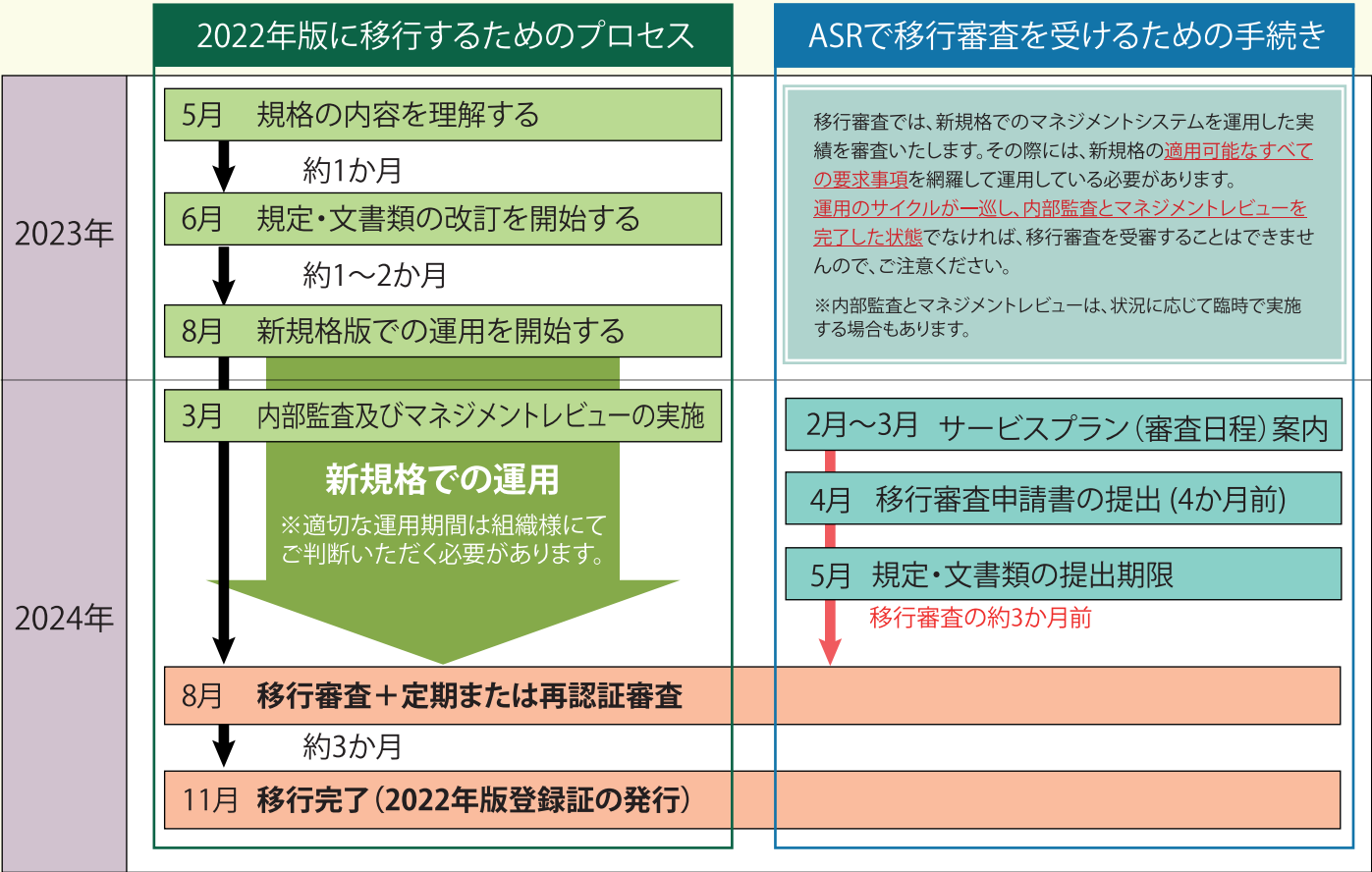
※1 旧版での初回登録及び再認証で発行するASRの登録証は、有効期限が全て2025年10月31日(移行期間の終了日)となっておりますが、同日までに2022年版への移行が決定された場合は、元の有効期限の登録証が発行されます。

※2 2025年11月以降に再認証審査がある場合、再認証審査自体は有効期限の6か月前まで前倒しできますので、再認証+移行審査として実施することができます。その場合の登録証の有効期限は事例③同様に引き継ぐことが可能です。

早めの準備をお勧めします。

移行へのスケジュールモデル

2024年11月に移行を完了する場合、いつ頃までに何を済ませておけばいいのかというモデルケースです。



ご不安な点はありますか？

規格改正に関するよくある質問

規格改正に関するよくある質問はこちら

Q1.	移行審査はいつまでに受けなければいけないのでしょうか？
A1.	2025年7月末までには2022年版移行審査を実施する必要があります。 弊社では2022年版移行審査を2025年7月末までに実施される定期審査、または再認証審査時に併せて受けることをお勧めしております。 (移行審査単独での受審も可能ですが、その場合は通常の定期審査・再認証審査を別途実施する必要があります) ただし、再認証審査時に移行審査を受ける場合は、余裕をもって有効期限の3か月前までに受審されることを推奨いたします。 また、移行審査のお申込みは2025年3月末までにASRにご提出いただけますようお願いいたします。
Q2.	移行審査には追加の費用が掛かるのでしょうか？
A2.	定期審査の際に移行審査を実施する場合は130,000円、再認証審査と同時に実施する場合は70,000円(どちらも税抜)を追加いただけます。 移行審査では2022年版の要求事項が網羅されていることを確認する必要があるため、通常の定期審査および再認証審査よりも工数を多くいただく必要があります。あらかじめご了承ください。
Q3.	2022年版への移行審査を受けたいのですがいつから受けられますか？
A3.	2023年10月(予定)より、移行審査の受審が可能です。 申し込み方法等、詳細につきましては対象のお客様へ順次ご案内いたします。

その他規格改正に関するよくある質問は、ホームページにて掲載中！

<https://www.armsr.co.jp/iso/iso27001/iso27001-faq.html>